

白鶴美術館 秋季展

殷周青銅器

—美術としての立体造形— 本館



「饗養文鼎」 殷(商)時代



「象頭兕觥」 殷(商)時代 重要文化財



「饗養鳳文方尊(栄子尊)」 西周時代 重要文化財

近代中東絨毯

—一点描画としての美— 新館

Nain Toudeshk, Central Persia
(ナーイーン ツデシク、ペルシア中央部) 20世紀初期 部分

2018年 9月22日(土)~12月9日(日)

休館日 月曜日 但し9月24日(振替・月)、10月8日(祝・月)は開館、
9月25日(火)、10月9日(火)を休館

入館料 大人:800円 65歳以上・大学・高校生:500円 中・小学生:250円
(大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)

開館時間 午前10時~午後4時30分(但し入館は午後4時まで)

催し	講演会	10月28日(日)	特別イベント	11月18日(日)、12月2日(日)
	新館レクチャー	11月4日(日)	美術に親しむ会	11月11日(日)
	織りのイベント	10月7日(日)	ワークショップ	11月11・18・25、12月2日の各日曜日
	アートトーク(スライド解説)	9月23・30日、10月14・21日、11月25日、12月9日の各日曜日		

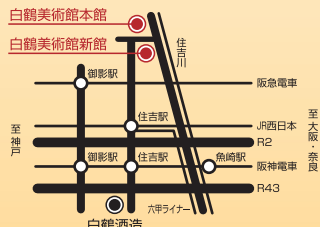
公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

(問い合わせ先)

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

TEL.FAX.078-851-6001

<http://www.hakutsuru-museum.org/>



- 阪神御影駅、JR住吉駅から
市バス38系統渦森台行
「白鶴美術館前」下車
- 阪急御影駅から北東約1km
(徒歩15分)
- 阪神高速道路3号神戸線、
大阪方面: 魚崎出口から1.5km
姫路・明石方面: 摩耶出口から6km
- 無料駐車場あり(大型バスも可)

HAKUTSURU

殷周青銅器

— 美術としての立体造形 —

本館

殷（商）・西周時代の青銅器の前に佇む時、私たちはそこに何を見、それらをどのように感じ取るでしょうか。中国古代青銅器は、エジプト文明、メソポタミア文明、エーゲ海文明などが生み出した金属工芸を始めとする古今東西の工芸美術を凌駕する、精緻で奥深さに満ちた稀有の造形物です。幸いにも白鶴美術館の青銅器は殷（商）周人が極めて卓越した造形力を発揮した傑作揃いですから、まず居並ぶ青銅器の立体造形としての素晴らしさを味わって下さい。そして、器面上に表された、饕餮文を始めとする鬼神を彷彿とさせる靈獣文様が語り掛けて来る精神世界に肉薄して参りましょう。

なお、今年は唐王朝（618～907年）建国1400年の節目の年に当たります。小さな展示スペースではございますが、銀器・鏡など珠玉の唐時代工芸作品をご覧ください。殷周青銅器と何ら遜色のない金属工芸の粋をご堪能下さいますならば嬉しく存じます。



「饕餮夔龍文方卣」 殷（商）時代
重要文化財



「鍍金龍池鸞鳳双魚文銀洗」 唐時代
重要文化財



「白銅海獸葡萄鏡」 唐時代



「鍍金犀文銀盒子」 唐時代



「鳥形卣（大保卣）」 西周時代



「方座百乳文四耳簋」 西周時代

近代中東絨毯

— 一点描画としての美 —

新館

近代において、ペルシア・アナトリア・コーカサスの各地域が繊細で迫力のある美術工芸として絨毯を生み出しています。それは色系によって描かれる大画面の点描画として、伝統的な文様に近代的な感覚を取り入れ、より細かく多色で美しい作品へと発展していきました。右作品のうち上段右、シュレシ工房の絨毯に至っては、0.5mmのペン先で描くに等しい細かさです。

現代では色数も増え、「絵画絨毯」と呼ばれる、一見、写真と見紛うような作品もありますが、それは19世紀以降に成長を遂げた近代絨毯産業の延長上に生み出された姿といえるでしょう。

近代の中東に於いて一大輸出産業となった「伝統美術工芸」絨毯。優れた絨毯を観察することで、当時の絨毯工房の飽くなき挑戦を垣間見ることができるのです。



ナーイーン ツェジク、ペルシア中央部
20世紀初期



イスファハーン、ペルシア中央部
シュレシ 20世紀中期



ヘレケ、アナトリア中央部
20世紀後期



クバーベルバディール、コーカサス
1900年頃

講演会

日 時：10月28日（日）午後2時～3時30分
テーマ：「青銅器の造形 — 中国古代からのメッセージ —」
講 師：九州国立博物館主任研究員 川村 佳男 氏

特別イベント

日 時：①11月18日（日）②12月2日（日） 午後1時～3時
テーマ：「屏風作り — 紙の役割 —」 ①本紙の内側を知る ②紙蝶番を知る
講 師：表具師 岡本 吉隆 氏（株式会社清華堂 取締役社長）

美術に親しむ会

日 時：11月11日（日） 午後1時～3時
テーマ：「中国古代の青銅工芸」
講 師：当館学芸員

アート・トーク

日 時：9月23・30日、10月14・21日、11月25日、12月9日の各日曜日 午後2時～3時
テーマ：「解説—展示品のみどころ」
当館学芸員によるスライド解説

新館レクチャー

日 時：11月4日（日） 午後2時～3時
テーマ：「現代の絵画絨毯について — イランにおける伝統との向き合い方 —」
講 師：神戸学院大学非常勤講師 吉田 雄介 氏

織りのイベント

日 時：10月7日（日） 午後1時～4時
テーマ：「糸で点描画」
講 師：京都造形芸術大学非常勤講師 新田 恭子 氏

ワークショップ

日 時：①11月11・25日 ②11月18日、12月2日の各日曜日 午後3時～4時30分
テーマ：①「金文ってなに？ なぞって作るキーホルダー」
テーマ：②「クルッと反転！ 紙が要のミニ屏風」
指導員：甲南大学学生

ご入館頂きましたら、ワークショップ・イベントのご見学及びご聴講は自由です。
内容詳細につきましては、白鶴美術館（078-851-6001）にお尋ねください。

次回春季展は2019年3月5日（火）から開催の予定です。